

居合道たより Vol.09



居合道ながさき



<牛部屋に蚊の声聞き残暑かな (松尾芭蕉)・・立秋>

立秋(8月7日頃)を過ぎても、なお残る暑さのことを残暑と言います。立秋の頃に咲く芙蓉は花言葉が「心変わり、繊細な美」とも言われ、ハイビスカスに似た直径10cm~15cmほどの大輪の花を咲かせます。花の寿命は1日と短く、朝方に開花して、夕方にはしぼんでしまいます。しかしながら、毎日次々と開花していますので、長期間花を楽しむことができます。漢字で「芙蓉(フヨウ)」と表記され、「芙蓉」はハスの美称でもあることから、両者を区別するために、ハスを“水芙蓉(スイフヨウ)”、フヨウを“木芙蓉(モクフヨウ)”と呼ぶことがあります。



写真：芙蓉
花言葉：繊細な美

立秋や残暑と聞くと、暦の上では秋になった地上に、べったりと貼りつくように居座っている「夏の暑さ」を連想をします。一方、秋暑と聞くと、どこか弱さとか、儂さのようなものを帯びた、「秋らしい暑さ」を連想するものです。

立秋は暦の上で秋が始まる日となります。立秋を過ぎてから秋分(9月23日ごろ)までの気温の高い状態を残暑と呼び、立秋から8月末までのなかなか終わらない暑さを見舞う葉書を出す場合は残暑見舞いとなります。立秋から秋とはいっても名ばかりで、まだまだ暑さが続く時期で熱中症などには十分注意が必要です。実際の秋を感じ始めるのは例年9月初め頃からとなります。今年の夏はとてもし暑い暑さが続いています。居合道の稽古では熱中症にならないように水分補給を確実にとりたいたいものです。

<全日本居合道大会強化稽古・・猛暑での稽古実施中>

平成30年第53回全日本居合道大会は10月20日(土)茨城県立武道館において開催されます。長崎県代表として悔いのない稽古を積み、ベストを尽くして大会に臨んでほしいものです。7月1日(日)に開催された長崎県居合道段別選手権大会で五段から七段までの上位2名の強化選手が先行され、本大会までの強化稽古が猛暑のなか続けられています。

- 1) 長崎県強化選手 (監督 高木志伸)
 - 五段 畑中健祐 (遊道会) ・松尾博愛 (友剣会)
 - 六段 岩男徹史 (厚海会) ・宮崎大輔 (友剣会)
 - 七段 平 禮道 (口之津健武館)・廣瀬正祐 (静心会)

2) 全日本居合道大会開催地

茨城県立武道館

〒310-0045 茨城県水戸市新原 2-11-1 Tel : 029-251-8444 Fax : 029-252-2554

3) 開催日時

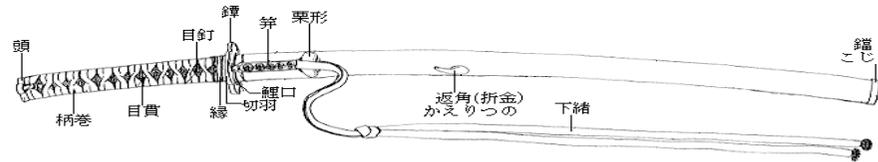
2018年10月20日(土) 午前9時より (一般見学可)

4) 強化日程稽古

今年度の強化稽古は7月から10月の全日本居合道大会まで佐世保市を中心に強化稽古を計画、実施しています。

平成30年度 全日本居合道強化稽古日程

	強化練習	月日	時間	場所
1	第1回強化練習	7月15日(日)	9:00~15:00	長崎県立武道館 (佐世保市)
2	第2回強化練習	7月29日(日)	々	鹿町工業高校多目的棟 台風接近のため中止
3	第3回強化練習	8月4日(土)	々	佐世保市東部スポーツ 体育館サブアリーナ
4	第4回強化練習	8月19日(日)	々	鹿町工業高校多目的棟
5	第5回強化練習	9月16日(日)	伝達講習会及び 一級審査後	大村市武道館
6	第6回強化練習	9月24日(月)	9:00~15:00	佐世保市東部スポーツ 体育館サブアリーナ
7	第7回強化練習	10月7日(日)	秋季昇段審査・講 習会後	大村市武道館
8	第8回強化練習	10月14日(日)	9:00~15:00	鹿町工業高校多目的棟



第 1 回長崎県居合道演武大会報告・・・シーハットおおむら さくらホール

平成 30 年 6 月 24 日(日)にシーハットおおむら さくらホールにて、長崎県居合道部による長崎居合道演武大会を開催しました。少ない観客でもったいないような素晴らしい演武大会となりました。また、長崎県段別居合道大会を前に気迫のはいった演武ができました。演武内容は県内に伝わる各流派の演武を 10 分間ごとに行いました。まず、全日本剣道連盟居合(ぜんにほんけんどううれんめいあい)から演武をはじめ、神道無念流(しんとうむねんりゅう)無双直伝英信流(むそうじきでんえいしんりゅう)夢想神伝流(むそうしんでんりゅう)の演武を披露しました。また、長崎居合道演武大会前には第 33 回おおむら菖蒲まつり少年剣道大会がシーハットおおむらで開催され、小学生から中学生まで 270 チーム約 1500 人の少年剣士が大村に集まりました。佐賀、福岡、熊本、大分など九州の強豪チームが結集した開会式では長崎県剣道連盟居合道部を代表して、居合道部長の高木志伸居合道教士七段が演武をしました。立ち合いは地元大村の川辺一郎教士七段でした。選手と審判役員、保護者を入れると約 4000 人の前での演武でした。演武が始まると場内が次第に静けさの中に変化していくことを肌で感じ、何とも言えない雰囲気の中で演武することができ、あらためて居合道の持つ静と動の持つ素晴らしさを感じました。来年度は長崎居合道演武大会に出場する全員での演武をおおむら菖蒲まつり少年剣道大会会場で披露したいと感じました。

<長崎県居合道演武大会写真集>



講習会を訪ねて・・・佐世保剣道協会 「武道家のための居合道セミナー」

標記の講習会が平成 30 年 7 月 15 日(日)、長崎県立武道館(佐世保市)において開催されました。本講習会の居合道セミナー「武道家のための居合道」は佐世保市剣道協会主催で剣道人のための居合道講習会ということで実施されました。佐世保市剣道協会から居合道部長と全日本居合道大会強化選手が講師として招聘されました。講習会には剣道八段 1 名、剣道七段、六段、五段の方々が約 20 名参加されました。講習会は午前中、居合道修業の目的、刀の名称と刀の取り扱いの講話の後に実技を行いました。実技では着装、足さばき、納刀、手の内、刀の振り方など基本的な動作、所作、五業の構えなど日本剣道形と全日本剣道連盟居合道の類似点と違うところなど実技を交えながら行いました。居合道セミナーテキストは要点をわかりやすいように編集したものを利用して解説しながらの講習でした。実技では最初に無双直伝長谷川英信流の組太刀の位を実演、古流演武では全日本剣道連盟居合を本年度の全日本居合道大会候補選手が演武を披露しながら説明を行いました。また、呼吸法や足さばきでは剣道八段、七段の先生方も熱心に取り組んでいました。講習会参加者が自分の剣道修業に居合道の良いところを取り入れようとしている姿勢には頭が下がる思いがありました。最後には全日本剣道連盟居合一本目「前」を見事に全員が班ごとに披露できるまでになりました。これからもこのような剣道と居合道が互いの良いところを認め合う講習会を実施できるようになりたいと感じました。

講習会内容

- 資料① 刀法の基礎知識 永江又三郎著
- 資料② 「居合道と日本人の心を学ぶ」
- 資料③ 武道セミナー居合道資料

- i) 居合道の概要
- ii) 全日本剣道連盟居合
- iii) 居合道修業の目的
- iv) 居合道の気剣体一致
- v) 正座の姿勢と座礼
- vi) 刀の名称
- vii) 気位・品格のある美しい武道

- 実技① i) 古流 組太刀の位
- ii) 着装、すり足、手の内
- iii) 構えの基本
(上段・下段・脇構え・八相)
- iv) 抜き付け、切り付け、納刀



写真：小太刀の「手の内」と「受け流し」



写真：刀の切り付けと足さばき